

校長室通信 5/16¹⁴号

本日、保護者の方からうれしい連絡が届きました。それは次のような内容でした。

以前から、公園のごみを嫌だなーとされていて～
そしたら！昨日！我が子と船の公園に行ったら、女の子たちがゴミ拾いを
していて、「どうしてごみを拾おうと思ったの？」と聞くと、「今、キャンバで海
のごみ問題のポスターを作って、この公園もゴミが多いなあと思って」と答
えたそうです。その方は感動して、「おばちゃんもそう思って！拾ってくれて
いることにすごく感動しているよ。ありがとう」と伝えてくださったそうです。
その後もうずっとゴミ集めをしていて、下級生に「ゴミが多いから、今度から公
園に来るときはゴミ袋を持ってきてね。」とか「ゴミは拾って帰ろう」と伝えて
いたそうです。

この保護者の方は、「みんなの公園を、みんなで大切に使うとか、きれいに
するとか、当たり前で小さいことだけど、とっても大切なことだと思います。
小さな子供たちの行動が、大きな変化になると思う出来事でした。」と連絡
してくださいました。

子供たちが、「自ら、気づき、考え、実行した」ことが大変素晴らしいと同時
に、地域の保護者の方が今回うれしい方向をしてくださったことに感謝しま
す。

「心は目には見えません。でも、心の表れは見る事ができるのです。」

すばらしい心の表れが見られた児童は、
3年1組「高田 瑠美(るみ)」さん、「徳永 青葉(あおば)」さん、3年2組
「宇都 愛佳(まなか)」さん、3年4組「丸田 結莉菜(ゆいな)」さんです。

学校内でも善行が見られました。

全校集会で心の表れについて「トイレのスリッパ」の
話をしました。すると、トイレで腰をかかめて、すべ
てのスリッパをきちんと整えている男子児童を山田
先生が見かけたそうです。すぐに行動に移し、実践
したのは、6年生の「横山陽斗(はると)」さんです。
このことを紹介してから、スリッパが並べられるよう
になってきました。

